

件名：しぶかわまちづくりカフェ（高校生ワークショップ）について

1 趣 旨 市では、将来の渋川市を担う高校生を対象として本市に対する評価や意向等を把握し、まちづくりの指針である総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするとともに、市の魅力を再確認してもらい地元への愛着の醸成を図るため、しぶかわまちづくりカフェ（高校生ワークショップ）を開催します。

2 事業概要

(1) 名 称 しぶかわまちづくりカフェ（高校生ワークショップ）

(2) 日 程 7月31日（月）午前9時30分から

(3) 会 場 渋川女子高等学校（3教室、大会議室）

(4) 参加者 市内4高等学校（渋川高等学校、渋川女子高等学校、渋川青翠高等学校、渋川工業高等学校）第2学年の生徒 48人

(5) 実施手法 ワールドカフェという、リラックスした雰囲気の中、参加者を小グループに分け、度々メンバーを交換することにより、知識や考えを共有し、多様な意見の創出が期待される手法です。

(6) 当日進行
ア 開会（大会議室）
イ ワールドカフェ形式の対話（3教室）
ウ 意見の発表（大会議室）
エ 市長講評（大会議室）
オ 閉会（大会議室）

(7) その他 しぶかわまちづくりカフェ（高校生ワークショップ）は、昨年度から開催しています。今年度は、市内高等学校の交流を深め、より多様な意見を伺うため、市内4高等学校合同で開催します。

平成28年度しぶかわまちづくりカフェ（高校生ワークショップ）開催結果

1 開催目的

現在の市民ニーズは多様化、高度化しており、市民意識調査だけでは捉えきれないより詳細なニーズを把握し、計画策定の参考とする目的で開催しました。

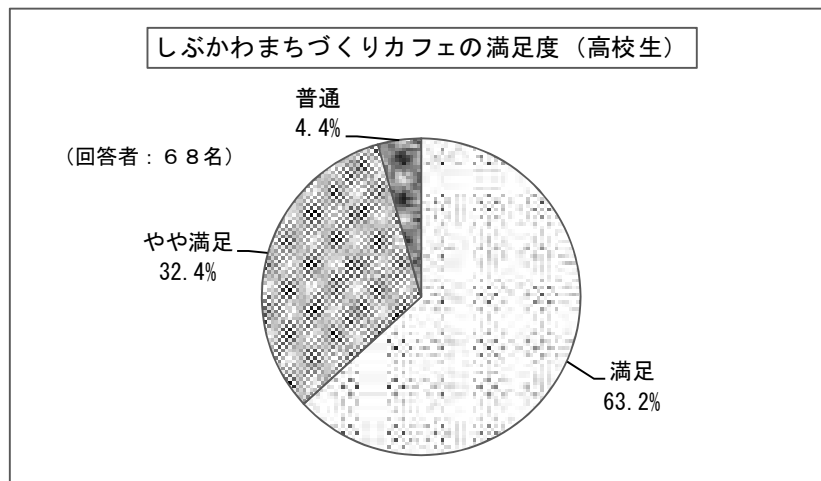
2 開催概要

市内の高等学校に通う第2学年の生徒68人を対象として、各学校で各1回、計4回開催しました。

3 まちづくりに対する主な意見等

主な意見
都市的発展は前橋などに任せ、渋川は自然の魅力をいかした田舎的なまちづくりを進めてほしい。
学生が渋川市をPRするプロモーションビデオを作る。
渋川ショッピングプラザ跡地をいかした市街地の活性化を進めてほしい。
市内の高校同士で交流を深め、地域活動（花植え、ゴミ捨てなど）を行う。

4 アンケート結果



主な意見
普段あまりこのようなことについて考える機会がないので参加してみるととても良い勉強になった。これを機に今の自分に何ができるのかじっくり考えてみたい。
まだまだ改善できることがあるがその中でも高校生の力は意外と大きいのでは思った。生徒会としても、他の高校又は市ともっと関わってよりよい市を作っていきたい。

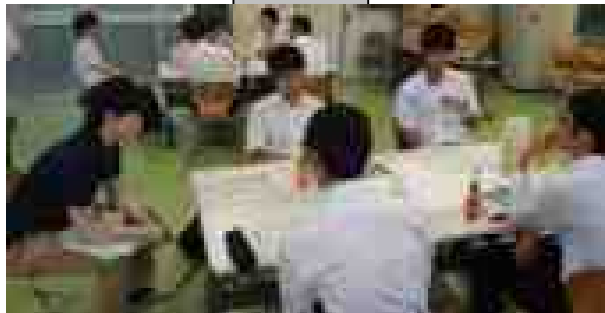
5 しぶかわまちづくりカフェの進め方



参加者は、複数のテーブルに分かれて、市職員から当日の進め方などについて説明を受けます。
説明が終了したら第1ラウンドのテーマについて、話し合います。時間は10分です。



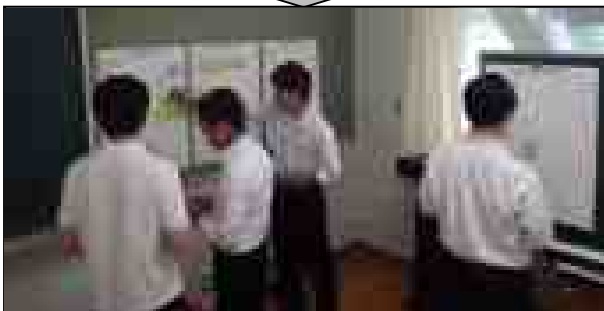
第1ラウンドが終了したら、テーブルに1人残して、他の人は別々のテーブルに移動し、第2ラウンドのテーマについて、話し合います。時間は15分です。



第2ラウンドが終了したら、第1ラウンドのテーブルに戻り、第3ラウンドのテーマについて、話し合います。時間は15分です。



全てのラウンドが終了したら、各テーブルを担当する市職員が、各テーブルで話し合われた内容を参加者全員に発表し、意見や考えを共有します。



参加者は、共有した意見や考えを踏まえて、まちづくりに対する自分の意見等を付箋に記入し、パネルに貼付します。
他の参加者の付箋を見ることで、改めて、全員で意見等を共有します。